

ガバナー月信



加茂市の加茂川に4月上旬から5月7日頃まで約500匹の色とりどりの鯉のぼりが泳ぐ姿は圧巻です

月信5月号

- ① ガバナーメッセージ
- ② 南雲年度防減災セミナー
- ③ 米山カウンセラー研修会
- ④ 地区研修委員会
- ⑤ 財団委員会通信
- ⑥ 地区主要行事予定 (5月・6月)
- ⑦ 新入会員紹介・計報
- ⑧ コーディネーターニュース
- ⑨ ハイライトよねやま



国際ロータリー第2560地区
2023-24年度

米山ガバナー事務所

〒951-8061 新潟市中央区西堀通七番町 1574
ホテルイタリア軒 B1
TEL : 025-222-2561 FAX : 025-222-2565



多様性豊かな 2560 地区へ

2023-24 年度 ガバナー

米山 忠俊 (三条北 RC)

過ぎゆく春が惜しまれる季節となりました。夏が来るのが年々早く感じます。皆さん体調にお変わりはありませんでしょうか。

今年度も残すところあと 2 か月となりました。皆さんのクラブは今年度の目標達成に向けて順調でしょうか。会員減少が続く当地区では、会員増強を重要課題に取り組んできました。新規入会者数はもちろん、今年度は特に女性会員増強に力を入れていただくようお願いしていましたが、意識して取り組んでいただけましたでしょうか。

平成の時代は、“働く女性”が増えた時代です。ただ、この動きと相まって、出産・育児との両立や男女の賃金格差、働く女性のキャリアアップなど、女性が働く環境を巡るさまざまな課題も浮き彫りになりました。例えば 15 歳から 64 歳までの女性のうち働いている人の割合はおおよそ 70%。しかし、私の実感としては仕事上でもロータリー活動をしていても、出会う管理職の方はほとんどが男性です。実際に日本の管理職全体に占める女性の割合は 12.7% と大変低いものとなっています。

個々の企業や地域では、取り組みが徐々に進んでいるようですが、一方で、世界各国と男女の格差を比較すると、大きく立ち遅れている現状が見えてきます。世界経済フォーラムが発表した「ジェンダーギャップ指数」によると、日本の「女性の労働参加度」は 149 か国中 79 位と先進国内では低め。しかし「管理的職業の男女の人数差」はさらに低く 129 位とされ、G7 の中ではダントツの最下位です。

女性の活躍の舞台が増えるかどうかは、景気に大きく左右されます。特に最近は社会全体の動きに連動して女性の社会的地位も劇的に変化したと感じます。ここから状況が後戻りすることは考えにくいので、令和の時代は、いかにこの流れを前に進めるかが勝負だと思います。「国がいうから女性を管理職にしなければ」ではなく、問題があるから改善していくという考え方で取り組まなければなりません。

平和で多様性豊かな 2560 地区を作り上げていくうえで、若い力と女性の力は必要不可欠なものです。皆さんの素敵なクラブを、もっともっと素敵なクラブにするために、新しい風をどんどん入れていきましょう。



南雲年度ロータリー 防減災セミナー 報告

ロータリー地域協働ネットワークセンター
センター長

清水 信博 (高田東 RC)

3月23日(土)に長岡市にて南雲年度の防減災セミナーを開催し、無事終了いたしました。まだ、米山年度が半分過ぎた頃の開催です。ここ近年は、防減災セミナーの開催が早まっています。頻発する災害に備えての早めの開催です。

今年も新年早々、能登半島地震が発生し、能登地域はもとより、本県も含め甚大な被害が発生いたしました。能登地方の復旧はまだまだ時間がかかると思われます。1日も早い日常生活を取り戻すようお願いばかりです。

そのような中でのセミナーの開催です。参加者数は近年50名を優に超えています。防災への関心の高さが伺えます。南雲ガバナーエレクト、阿部地区幹事をはじめ、地区役員の皆様、各クラブ連絡員の皆様、また日頃ご協力頂いている各協力団体の皆様よりご参加頂きました。

まずは、センター長 清水より、能登半島地震発生後の当2560地区としての対応を時間経過とともに説明しました。センター内の打合せから、米山ガバナーや石黒地区幹事との生々しいやり取りや、各ガバナー補佐との状況確認作業など、日々変化する状況下での情報交換等の内容です。また1月18日には、ガバナー、ガバナーエレクト緊急会議を招集し、意見交換を行い今後の対応を協議した様子なども説明しました。

その後、新潟県防災局防災企画課 堀川健一課長様より、この地震についての県の対応をお話し頂きました。特に当県の被害状況や対応を詳しく説明され、考えている以上に当県でも甚大な被害が発生していた事を改めて確認しました。

最後は、毎回同じような内容ではありますが、「ロータリー地域協働ネットワークセンターの役割と仕組みと対応」を鈴木顧問より説明頂き、参加者の理解を求めました。

このセミナーの参加者は毎年変わるため、毎年のお繰り返しが必要です。有事の際、慌てず、冷静な対応を取るにはどうすればよいか？ 2004年に発生した中越大震災での当地区の対応ビデオを改めて上映し、今回の能登半島地震と対比しながら、参加者がそれぞれに思い巡らされた事と思います。

来年度以降もこの防減災セミナーを開催し、「常在戦場」を常とし、有事の際はロータリアンとしての行動を実践して頂きますようお願いいたします。





米山カウンセラー研修会のご報告

国際ロータリー第 2560 地区
米山記念奨学委員会
奨学生選考委員

中村 文彦 (新潟西 RC)

2024 学年度米山カウンセラー研修会が 2024 年 3 月 30 日 (土曜日) に ANA クラウンプラザホテル新潟にて開催されました。

研修会当日は、18 名の新規カウンセラーに出席をいただきました。

はじめに、渡邊嘉子米山記念奨学委員長 (新潟中央 RC) より、ご挨拶をいただきました。その中で報告があったのが、2026-27 年度国際ロータリー第 3410 地区ガバナーに元米山奨学生のラスマナ センダリウスさん (当時の世話クラブ、長岡西 RC) が就任されることになったとのことでした。元米山記念奨学生では、4 人目のガバナーだということです。

続いて、「カウンセラー制度、役割について」織戸潔奨学生選考委員 (新潟 RC) より米山奨学金記念事業の成り立ちや目的、また、カウンセラー制度やその役割についての説明がありました。参加者は、パワーポイントや配布資料を熟読いただき、ご理解いただけたことと思います。

研修会の後半には、体験発表として、余子慶 (ヨシケイ) さん (世話クラブ、新潟 RC) と周燕妮 (シュウ エンジ) さん (世話クラブ、長岡西 RC) の米山記念奨学生の 2 名からと、元カウンセラーの吉村鳳一さん (新潟西 RC) と、関川博さん (三条 RC) の 2 名から体験発表を行っていただきました。

余子慶 (ヨシケイ) さんからは、昨年 8 月に行われた米山奨学生との親睦交流会の様子を紹介いただきました。

訪問先の会津白虎隊と出身の中国の歴史観を交えた説明があり、その中で交流の重要性をお話されていました。

次に、周燕妮 (シュウ エンジ) さんからは、現在専攻している学業について、とても流暢な日本語で説明がありました。当初日本に来た時は日本語がまったくできなかったそうです。一年を過ごした感想として、カウンセラーと交流する中で、学業以外の家族ぐるみの交流の中で家族愛を感じたそうです。

次に、カウンセラーの吉村鳳一さん (新潟西 RC) からは、奨学生のタンさんとのスナップ写真を紹介しながら交流エピソードを紹介していただきました。会場からは笑い声が出るなど、楽しさが伝わる交流生活だったそうです。また、奨学生のタンさんからは、すでに帰国したのですが、日本にいた七年間の留学生活の中で一番楽しかった一年だったということです。

体験発表の最後は、カウンセラーの関川博さん（三条 RC）から、奨学生とカウンセラーの関わり方についてのお話をいただきました。心得は家族が1人増えたと思えばいいということでした。特別な事をするのではなく、自分の子供や家族だったらどんな事をするのかを考えればいいとのことでした。特別なことなどすること無く、日常を体験することの事例を写真やエピソードをもとに、紹介がありました。

渡辺雅志奨学生学友委員長（長岡西 RC）から、改めてラスマナ センダリウスさんのガバナー就任の説明がありました。奨学生当時のエピソードや写真を交えて、ラスマナさんからの手紙の紹介がありました。ラスマナさんからは、ロータリーの素晴らしさ、心構えがとても役に立ったとのことでした。

次に、国際ロータリー 2560 地区米山記念奨学会理事の新保清久パストガバナーより講評をいただきました。体験発表をした4名への御礼と世話クラブ、カウンセラーの皆様への今後の米山記念奨学会事業の協力をお願いがありました。

研修会全体の終了予定時間よりもかなり延びてしまう、充実した研修会でした。

最後に、奨学生を快くお引き受けくださった世話クラブ、カウンセラーの皆様には、心より感謝申し上げます。将来、母国と日本との交流の架け橋となり、国際社会での活躍が期待される奨学生との交流を精一杯楽しんでください。また、今後とも米山記念奨学会の事業に対してのご理解とご協力をお願いいたします。







研修からラーニングへ、講義からファシリテーションへ その2

地区研修委員会 副委員長
 研修小委員会 委員長
 地区研修チーム
関川 博 (三条 RC)

国際ロータリーでは、昨年より「研修からラーニングへ」「講義からファシリテーションへ」と強く奨励しています。当地区でも、南雲年度より全面的に取り入れ南雲年度地区重点目標に「地区ラーニング委員会の充実」を掲げられました。それでは、何が研修とラーニングの違いなのか？また、講義とファシリテーションの違いは何かを説明いたします。

■研修とラーニング

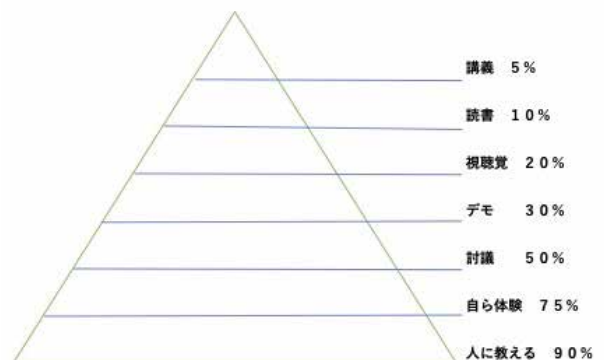
研修というと学校並びで先生（講師）がひな壇に登壇し、受講者が話を聞くというスタイルです。それでは質問。今まで受講した数々の研修の中から記憶に残る内容をご紹介いただけますか？——どのくらい記憶から引き出せたでしょうか。私ごとですが、記憶に残っていると即答できる研修は若い頃に受講した管理者研修で、講師が私に発言を求めた瞬間をよく覚えております。その内容は今でも時として引き出しから出して自問自答しています。なぜ40年前の記憶をいまだに覚えていて、時として使うのでしょうか。ロータリーに入会しクラブ幹事となった8年前のこと、PETSに参加したことは覚えていますが、その時の内容は残念ながら何一つとして記憶に残っていません。


先ほどの、管理者研修ですが、事前に資料が配布され予習することを求められました。研修開始、直ぐにテストがあり、資料の理解力を試され、成績別に部屋が振り分けられ、更に研修会では口の字テーブルに着座し、講師はその中心に立つスタイル。資料は何もなく、次々に発言を求める進行でした。今思うと、現在国際ロータリーが強く奨励するラーニングとファシリテーションです。

その研修の最後に「記憶の三原則 ①聞いて忘れる ②読んで書いて声を出して記憶する ③講師となり人に説得して理解する」と講師が言われた言葉は今も大切にしております。


- ・ 研修 : 聞くだけの受身なので自身の脳は働かない
- ・ ラーニング : 自学により、「読む」「書く」そして、「意見を述べる」自身の脳と感性が働く

ラーニング ピラミッドの理解力





「世界でよいことをしよう」 財団委員会通信



2023 年度地区補助金プロジェクトも最終報告書が地区事務所に続々寄せられています。次年度に向け各クラブ奉仕委員会の皆さん&財団委員長さんの参考にしていただければ幸いです。

尚プロジェクトの詳細については各クラブにお問い合わせください。

紹介するプロジェクトは次の3クラブです。

- ・ 中条胎内ロータリークラブ
「地域のための防災セミナー」
- ・ 糸魚川中央ロータリークラブ
「新日本フィルハーモニー交響楽団 アウトリーチ」
- ・ 三条東ロータリークラブ
「障がい者施設への支援」



地区補助金番号: DG2447744

個別プロジェクト報告書番号: 14

ロータリー財団地区補助金 (DG) 個別プロジェクト報告書

ロータリークラブ: 中条胎内ロータリークラブ

プロジェクト名: 地域のための防災セミナー

プロジェクトの概要

1. このプロジェクトで何が、いつ、どこで実施されたかを簡潔に説明してください。

胎内市、関川村、村上市荒川地区各区長及び防災士など82名が胎内市産業文化会館にて被災者の実体験や防災の専門家の体験談、講演を聴くことができた。

2. このプロジェクトの恩恵を受けた人々の数はどのくらいですか。 82名

3. プロジェクトの受益者は誰ですか、またどのような恩恵を受けましたか。プロジェクトはどのような人道的ニーズに応えましたか。

胎内市、関川村、村上市荒川地区の各区長、防災士。発災時の的確な判断や行動の参考事例を講師の講演や質疑応答で提供した。

4. このプロジェクトに何名のロータリアンが参加しましたか。 30名

5. これらのロータリアンは何を行いましたか。プロジェクトへの財政的支援を除き、その具体例を少なくとも2つ挙げてください。

事前準備、会場設営、当日の事業運営、セミナー進行、会場撤収。

6. 協力団体が関与している場合、その団体の役割は何でしたか。

胎内市。会場の提供と、防災備品の展示協力

プロジェクト実施写真集







中条胎内ロータリークラブ
(丹兵衛和会長)は18日、クラブ創立30周年記念事業・区長対象の「地域のための防災セミナー」を開いた。

このセミナーは、発災時、地域住民の安全確保のために決断、行動が求められる区長に必要な情報や行動例を提供することで、的確な判断ができるよう開催したもので、胎内市の区長、副区長、防災士約80人が参加した。

区長に求められる決断行動

中条胎内ロータリーC

「防災セミナー」前小岩内区長らが講演

はじめに「小岩内の奇跡」と題し昨年8月の豪雨で被災した村上小岩内集落の前区長、松本佐一さんが講演。大規模土石流の中でも犠牲者を一人も出さなかったのは、56年前の羽越水害の教訓が生かされたとし、地域が連携して的確に早めに避難することの大切さを訴えた。



昨年8月に発生した豪雨災害の状況を話す前松本区長

講演「東日本大震災を経験して」では、福島県南相馬市出身で胎内市在住の泉田和香子さんが、地震、津波、原発事故に襲われた壮絶な経験を語り、「震災時は、年齢、時間・場所、家族構成などたれひとり

貸ふとん
やま伝 (53) 2623

セミナーでは、中越市民安全士会の岸和義会長らが「住民に防災に関心を持ってもらうには「高齢者や障害者への災害時の支援は」などの質問と話していた。

として同じ境遇はなく、絶対安全ということとはない。個人や家族、学校、地域で平時から話し合っておくことが大切」と話した。



講演する泉田和香子さん

プロジェクトの成果の確認

「地域のための防災セミナー」 令和5年11月18日

参加者様アンケート

本日はご参加いただき誠にありがとうございました。皆様のご意見・感想をお聞かせください。

氏名 高橋 信孝 [役職] 区長 []

(*記名または無記名どちらでも構いません)

※選択肢からお選び〇をお付けください。

- 本日の「防災セミナー」はいかがでしたか?
①大変良かった ②良かった ③あまり良くなかった ④良くなかった
- 会場はどうでしたか?
①大変良かった ②良かった ③あまり良くなかった ④良くなかった
- 松本佐一氏の講演はどうでしたか?
①大変良かった ②良かった ③あまり良くなかった ④良くなかった
- 泉田和香子氏の講演はどうでしたか?
①大変良かった ②良かった ③あまり良くなかった ④良くなかった
- 「区長の皆様からの質問にお答え」はどうでしたか?
①大変良かった ②良かった ③あまり良くなかった ④良くなかった
- 本セミナーの感想や講師の方へのメッセージがございましたら、お書きください。

各講演を聞いて、災害の心や、くさかから私に何が出来るか、これに備えて、月台市や、災害の心や、準備をしようと思いは、

記入後、受付にご提出ください。
ご参加・ご協力ありがとうございました。 中条胎内ロータリークラブ

「地域のための防災セミナー」 令和5年11月18日

参加者様アンケート

本日はご参加いただき誠にありがとうございました。皆様のご意見・感想をお聞かせください。

氏名 1) 崎 勝考 [役職] 区長 []

(*記名または無記名どちらでも構いません)

※選択肢からお選び〇をお付けください。

- 本日の「防災セミナー」はいかがでしたか?
①大変良かった ②良かった ③あまり良くなかった ④良くなかった
- 会場はどうでしたか?
①大変良かった ②良かった ③あまり良くなかった ④良くなかった
- 松本佐一氏の講演はどうでしたか?
①大変良かった ②良かった ③あまり良くなかった ④良くなかった
- 泉田和香子氏の講演はどうでしたか?
①大変良かった ②良かった ③あまり良くなかった ④良くなかった
- 「区長の皆様からの質問にお答え」はどうでしたか?
①大変良かった ②良かった ③あまり良くなかった ④良くなかった
- 本セミナーの感想や講師の方へのメッセージがございましたら、お書きください。

この日のセミナーだったと思えます。この勉強に寄り添い、紙上の計画を確実に実行・行動できるように努めたいと強く感じました。(お返り)

記入後、受付にご提出ください。
ご参加・ご協力ありがとうございました。 中条胎内ロータリークラブ

参加者様アンケート

本日はご参加いただき誠にありがとうございました。皆様のご意見・感想をお聞かせください。

氏名 岸城 俊也 [職種 黒川南町副区長]

(*記名または無記名どちらでも構いません)

※選択肢からお選び〇をお付けください。

- 1 本日の「防災セミナー」はいかがでしたか?
 ①大変良かった ②良かった ③あまり良くなかった ④良くなかった
- 2 会場はどうでしたか?
 ①大変良かった ②良かった ③あまり良くなかった ④良くなかった
- 3 松本佐一氏の講演はどうでしたか?
 ①大変良かった ②良かった ③あまり良くなかった ④良くなかった
- 4 泉田和香子氏の講演はどうでしたか?
 ①大変良かった ②良かった ③あまり良くなかった ④良くなかった
- 5 “区長の皆様からの質問にお答え”はどうでしたか?
 ①大変良かった ②良かった ③あまり良くなかった ④良くなかった
- 6 本セミナーの感想や講師の方へのメッセージがございましたら、お書きください。

普段より意識が高い防災を学ぶ良い機会と知り、町内で実施している「PRQ会」「お祭り」等の行事も、この防災「PRQ」の一助となつては、と声をかけ、町民からPRQ会を立ち上げた。町民の安全と健康に貢献したいという思いで、PRQ会を立ち上げた。

記入後、受付にご提出ください。ご参加・ご協力ありがとうございました。 中条胎内ロータリークラブ

参加者様アンケート

本日はご参加いただき誠にありがとうございました。皆様のご意見・感想をお聞かせください。

氏名 佐藤 勉 [職種 区長]

(*記名または無記名どちらでも構いません)

※選択肢からお選び〇をお付けください。

- 1 本日の「防災セミナー」はいかがでしたか?
 ①大変良かった ②良かった ③あまり良くなかった ④良くなかった
- 2 会場はどうでしたか?
 ①大変良かった ②良かった ③あまり良くなかった ④良くなかった
- 3 松本佐一氏の講演はどうでしたか?
 ①大変良かった ②良かった ③あまり良くなかった ④良くなかった
- 4 泉田和香子氏の講演はどうでしたか?
 ①大変良かった ②良かった ③あまり良くなかった ④良くなかった
- 5 “区長の皆様からの質問にお答え”はどうでしたか?
 ①大変良かった ②良かった ③あまり良くなかった ④良くなかった
- 6 本セミナーの感想や講師の方へのメッセージがございましたら、お書きください。

全体的に講師の方の話を聞き、これにより自身を取り巻く環境について、自分の立場も、自分の役割も、大抵の事は済ませる。また、区長としての責任も、同じく区民の安全と健康に貢献したいという思いで、PRQ会を立ち上げた。

記入後、受付にご提出ください。ご参加・ご協力ありがとうございました。 中条胎内ロータリークラブ

参加者様アンケート

本日はご参加いただき誠にありがとうございました。皆様のご意見・感想をお聞かせください。

氏名 藤本 繁 [職種 区長]

(*記名または無記名どちらでも構いません)

※選択肢からお選び〇をお付けください。

- 1 本日の「防災セミナー」はいかがでしたか?
 ①大変良かった ②良かった ③あまり良くなかった ④良くなかった
- 2 会場はどうでしたか?
 ①大変良かった ②良かった ③あまり良くなかった ④良くなかった
- 3 松本佐一氏の講演はどうでしたか?
 ①大変良かった ②良かった ③あまり良くなかった ④良くなかった
- 4 泉田和香子氏の講演はどうでしたか?
 ①大変良かった ②良かった ③あまり良くなかった ④良くなかった
- 5 “区長の皆様からの質問にお答え”はどうでしたか?
 ①大変良かった ②良かった ③あまり良くなかった ④良くなかった
- 6 本セミナーの感想や講師の方へのメッセージがございましたら、お書きください。

府県はこの様な事故を起すべくは、避難を要する人は大変な状況におかれる。防災の観点から、現場に下げる時の備え、国と県例を見る位の対応は、体面が、必要と思ふ。実際、経験した講師の話を、現実味あり、大抵の事は済ませる。また、区民の安全と健康に貢献したいという思いで、PRQ会を立ち上げた。

記入後、受付にご提出ください。ご参加・ご協力ありがとうございました。 中条胎内ロータリークラブ

参加者様アンケート

本日はご参加いただき誠にありがとうございました。皆様のご意見・感想をお聞かせください。

氏名 井谷 政廣 [職種 区長]

(*記名または無記名どちらでも構いません)

※選択肢からお選び〇をお付けください。

- 1 本日の「防災セミナー」はいかがでしたか?
 ①大変良かった ②良かった ③あまり良くなかった ④良くなかった
- 2 会場はどうでしたか?
 ①大変良かった ②良かった ③あまり良くなかった ④良くなかった
- 3 松本佐一氏の講演はどうでしたか?
 ①大変良かった ②良かった ③あまり良くなかった ④良くなかった
- 4 泉田和香子氏の講演はどうでしたか?
 ①大変良かった ②良かった ③あまり良くなかった ④良くなかった
- 5 “区長の皆様からの質問にお答え”はどうでしたか?
 ①大変良かった ②良かった ③あまり良くなかった ④良くなかった
- 6 本セミナーの感想や講師の方へのメッセージがございましたら、お書きください。

更にも各自治体についての具体例が示され、大変良い。大抵の事は済ませる。また、区民の安全と健康に貢献したいという思いで、PRQ会を立ち上げた。

記入後、受付にご提出ください。ご参加・ご協力ありがとうございました。 中条胎内ロータリークラブ

地区補助金番号: DG2447744

個別プロジェクト報告書番号: 40

ロータリー財団地区補助金(DG)個別プロジェクト報告書

ロータリークラブ: 糸魚川中央ロータリークラブ

プロジェクト名: 新日本フィルハーモニー交響楽団 アウトリーチ

プロジェクトの概要

1. このプロジェクトで何が、いつ、どこで実施されたかを簡潔に説明してください。

日時: 2023年11月20日(月)10:35~11:35

会場: 糸魚川市青海中学校

内容: 新日本フィルハーモニー交響楽団員による演奏【バイオリン2、ビオラ1、ホルン1(5人演奏)】

2. このプロジェクトの恩恵を受けた人々の数はどのくらいですか。 268名

3. プロジェクトの受益者は誰ですか、またどのような恩恵を受けましたか。プロジェクトはどのような人道的ニーズに応えましたか。

プロジェクトの受益者は、青海中学校生徒(158人)、田沢小学校5・6年生児童(78人)、青海小学校5・6年生児童(32人)の子供たちです。

新日本フィル交響楽団のメンバーによる演奏に触れることを通じて、音楽や演奏への興味・関心を高め、感性を育てることを目的として実施しました。生徒からは、「プロの生演奏が聞けて感激しました」「演奏が吹奏楽部の参考になりました」との声をいただくことができました。

4. このプロジェクトに何名のロータリアンが参加しましたか。 7名

5. これらのロータリアンは何を行いましたか。プロジェクトへの財政的支援を除き、その具体例を少なくとも2つ挙げてください。

・糸魚川市立中学校・小学校の選定。

・糸魚川市教育委員会こども教育課との打合せ。

・実施計画や資料の作成。

・新日本フィル交響楽団との打合せや対応。

・次回に繋げるための、生徒たちへの聞き取り。

6. 協力団体が関与している場合、その団体の役割は何でしたか。

糸魚川教育委員会こども教育課

事業実施に当たり、学校選定や学校との打ち合わせをしていただきました。

プロジェクト実施写真集





プロジェクトの成果の確認

【日時】2023年11月20日(月)10:35～11:35

【会場】糸魚川市 青海中学校 講堂

【参加校及び人数】

青海中学校 全校生徒	158人	} 児童生徒合計 268人
田沢小学校 5・6年生児童	78人	
青海小学校 5・6年生児童	32人	

【新日本フィルハーモニー交響楽団】

バイオリン2、ビオラ1、チェロ1、ホルン1(5人演奏)

【演奏演目】

- 1.ととろ(久石譲)
- 2.ホルン協奏曲第4番 第3楽章(モーツァルト)
- 3.ハッピーバースデー
- 4.日本の四季(中田喜直)
- 5.アイネクライネナハトムジーク 第1楽章(モーツァルト)
- 6.さんぽ(久石譲)
- 7.ユーモレスク(ドヴォルザーク)
- 8.田沢小学校 校歌
- 9.青海小学校 校歌
- 10.青海中学校 校歌

【児童生徒からの感想】

・新日本フィルハーモニー交響楽団のメンバーによる演奏に触れることを通して、音楽や演奏への興味・関心を高め、感性を育てることを目的として実施しました。

生徒からは、

「プロの生演奏が聞いて感激しました」

「楽しい音色でとても心地よかったです」

「演奏が吹奏楽部での参考になりました」との声をいただくことができました。

また、田沢小学校・青海小学校・青海中学校の3校校歌を、各学校の指揮者の元、各学校ごとに演奏していただき、児童生徒たちが歌いました。児童生徒にはよい思い出になったのではないかと思います。



地区補助金番号:DG2447744

個別プロジェクト報告書番号:5

ロータリー財団地区補助金(DG)個別プロジェクト報告書

ロータリークラブ:三条東ロータリークラブ

プロジェクト名:障がい者施設への支援

プロジェクトの概要

1.このプロジェクトで何が、いつ、どこで実施されたかを簡潔に説明してください。
令和5年12月21日(木)障がい者拠点施設 グッデイいきいきサポートセンター

2. このプロジェクトの恩恵を受けた人々の数はどのぐらいですか。 250名

3. プロジェクトの受益者は誰ですか、またどのような恩恵を受けましたか。プロジェクトはどのような人道的ニーズに応えましたか。

グッデイいきいきサポートセンター利用者

クリスマスを通じて地域の間人と会話や触れ合いクリスマスを楽しみながら、社会との繋がりを感じることができる。また、ロータリアンも障がい者に対して多くの理解を深める。

4. このプロジェクトに何名のロータリアンが参加しましたか。 20名

5. これらのロータリアンは何を行いましたか。プロジェクトへの財政的支援を除き、その具体例を少なくとも2つ挙げてください。

・プレゼントの手配、準備

・施設を訪問し、衣装を着て利用者に声掛けをしながらプレゼントを渡す。

6. 協力団体が関与している場合、その団体の役割は何でしたか。

会場の提供、利用者の誘導

プロジェクト実施写真集





障害者拠点施設に サンタから贈り物

三条東ロータリークラブは21日、三条市柳沢の障害者拠点施設「グッデイいきいきサポートセンター」にクリスマスプレゼントを届けた。サンタクロースなどの姿をした会員20人が、利用者225人に贈り物を手渡した。

同施設は障害者の就労支援や生活支援などを行う2法人が運営。三条東ロータリーは2016年から毎年、お菓子の詰め合わせを届けている。新型コロナウイルスの影響でここ数年は代表者に人数分を渡すなどしていたが、今年は4年ぶりに全利用者一人一人に手渡した。

プレゼントを詰めた白い大きな袋を持った会員らが「メリークリスマス」と言って部屋に入ると、トナカイの角や赤い三角帽をかぶった利用者たちが、鈴

を鳴らすなどして歓迎。受け取ると「ありがとう」と笑顔を見せた。

三条東ロータリーの外山信良会長(71)は「利用者の方々が待っていてくれたのが、何よりうれしかった」と話した。

三条東ロータリークラブ



プレゼントを手渡すサンタ姿の三条東ロータリークラブ会員＝21日、三条市柳沢

三条東ロータリークラブ様


素敵なプレゼント
ありがとうございました



ありがとう!

社会福祉法人
青空福祉会 一同

ロータリークラブ様
おかしをいただき
ありがとうございました。
すてっぴ・くら




第 2560 地区 2023-24 年度 3 月末 会員数報告

R	C	例 会 数	My Rotary アカウント 登録率	会 員 数			
				2023年 7月1日	3月末 会員数	うち女性 増減	
第1分区 (9クラブ)				378	382	41	4
			-				
		3	32.2%	89	87	1	-2
		4	20.5%	39	39	9	0
		4	27.3%	31	32	1	1
		3	98.0%	48	49	3	1
		4	23.1%	38	39	5	1
		3	20.8%	25	24	2	-1
		3	4.4%	45	45	5	0
		4	48.7%	37	39	9	2
		4	28.6%	26	28	6	2
第2分区 (9クラブ)				436	440	30	8
			-				
		4	34.2%	78	79	3	1
		4	17.7%	61	62	7	1
		3	36.8%	114	114	8	0
		0	80.0%	5	5	0	0
		4	44.4%	40	45	2	5
		4	13.2%	36	38	3	2
		4	36.1%	37	36	1	-1
		3	36.4%	22	22	0	0
		3	53.7%	43	39	6	0
第3分区 (5クラブ)				91	95	6	4
			-				
		3	20.0%	15	15	1	0
		4	42.9%	12	14	0	2
		4	27.3%	32	33	1	1
		4	37.0%	26	27	4	1
		3	0.0%	6	6	0	0
第4分区 (11クラブ)				364	365	31	1
			-				
		3	9.1%	53	55	0	2
		3	7.5%	39	40	3	1
		4	10.3%	29	29	4	0
		3	20.0%	42	40	3	-2
		4	68.8%	31	32	4	1
		3	5.0%	20	20	1	0
		4	4.0%	28	25	3	-3
		4	11.1%	52	54	3	2
		3	7.1%	27	28	4	1
		4	16.7%	6	6	2	0
		4	19.4%	37	36	4	-1

R	C	例 会 数	My Rotary アカウント 登録率	会 員 数			
				2023年 7月1日	3月末 会員数	うち女性 増減	
第5分区 (7クラブ)				287	299	29	12
			-				
		4	69.6%	46	46	4	0
		3	2.1%	42	48	0	6
		3	25.9%	54	58	9	4
		3	19.5%	40	41	2	1
		4	13.6%	21	21	1	0
		4	18.0%	48	50	3	2
		3	26.5%	36	35	10	-1
第6分区 (6クラブ)				125	119	8	-6
			-				
		3	30.0%	31	30	3	-1
		4	14.3%	31	27	2	-4
		3	15.4%	26	26	3	0
		3	0.0%	15	14	0	-1
		3	28.6%	14	14	0	0
		4	12.5%	8	8	0	0
第7分区 (7クラブ)				309	302	20	-7
			-				
		4	33.8%	68	68	4	0
		3	37.1%	72	70	6	-2
		3	11.8%	32	34	1	2
		3	95.1%	43	41	3	-2
		4	58.3%	36	34	2	-2
		4	53.8%	25	26	0	1
		3	82.8%	33	29	4	-4

クラブ数	54 クラブ
7月1日会員数	1,990 人
3月末会員数	2,002 人
女性会員数	165 人
純増減会員数	12 人
My Rotaryアカウント登録率	29.8 %

地区主要行事予定

2024年4月23日現在

年 月 日		行 事		会 場	
2024年 (R6) 米山年度	5月	青少年奉仕月間			
		10~12	(金~日)	全国青少年交換研究会山形会議	山形県天童ホテル
		11	(土)	第1回地区リーダー危機管理セミナー	山形県天童ホテル
		12	(日)	高田東RC創立55周年記念並びに台湾板橋東區扶輪社姉妹クラブ更新式	デュオ・セレッソ
		18~19	(土~日)	ローターアクト地区協議会	新潟市アグリパーク
		19	(日)	分水RC創立50周年記念式典	燕三条ワシントンホテル
	25~29	(土~水)	RI国際大会	シンガポール	
	6月	ロータリー親睦活動月間			
		1	(土)	南雲年度 地区研修・協議会	アオーレ長岡
		6	(木)	全国米山記念奨学委員長セミナー	東京都内
		8~9	(土~水)	第16回全国RYLA研究会	福島
		15~16	(土~水)	第11回全国IA研究会	神戸
		16	(日)	ロータリー財団 学友会総会	ホテルイタリア軒
		22	(土)	第4回派遣学生オリエンテーション	燕三条地場産業振興センター
		22	(土)	派遣学生壮行会、受入学生お別れ会	燕三条地場産業振興センター
22	(土)	ローターアクト地区大納会	ホテルニューオータニ長岡		
29	(土)	米山年度感謝の集い	饒心亭お>乃		

【新入会員】

(敬称略)

RC	氏名	入会日	会社名	役職	職業分類
直江津	松原 祐輔	2024.03.25	日本生命保険(相)直江津営業部	営業部長	保険業
村松	伊藤 博之	2024.04.01	グランシェア株式会社	代表取締役	接骨院・介護・整体事業運営
雪国魚沼	富所 正樹	2024.04.01	ジョイパックコーポレーション	代表	飲食業
直江津	泉谷 光昭	2024.04.01	コマツカスタマーサポート(株)上越支店	支店長	建設機械販売
直江津	鈴木 康史	2024.04.01	東北電力(株)上越火力発電所	所長	電気業
長岡	星 健二	2024.04.02	(株)東京海上日動パートナーズEAST新潟支店長岡支社	支社長	損害保険
長岡	諏方 麻衣子	2024.04.02	(株)NTT東日本-関信越新潟支店	長岡営業支店長	電信電話業
水原	矢崎 幸平	2024.04.03	第一生命保険株式会社新潟支社水原オフィス	オフィス長	生命保険
高田	高橋 幸治	2024.04.12	株式会社ユアテック 上越営業所	所長	電気工事

【訃報】 ご冥福をお祈り申し上げます。

(敬称略)

RC	氏名	逝去日	会社名	役職	職業分類	経歴・その他
白根	関 正廣	2024.04.01	セキサーマル株式会社	代表取締役	金属熱処理	



LGBTQ+の人びとが参加しやすいクラブづくりを



第3地域 ロータリーコーディネーター補佐 大森 克磨（大分キャピタル RC）

私の職業分類は弁護士です。

私が所属する大分県弁護士会では、2023年1月に研修テーマとして、LGBTQ+の方々に関する法的問題が取り上げられました。

また、同年9月には、この問題が、九州弁護士連合会の定期大会の報告テーマにもなりました。

私自身も、現在、性別変更手続きを手がけており、LGBTQ+の方と接しておりますが、LGBTQ+の方々には既に身近な存在となっております。

さて、「LGBTQ+の人びとが参加しやすいクラブづくりを」(寄稿者：grant・ゴディノ[オーストラリア]会員)というタイトルの記事を目にしたのは、3、4年前のことで、おそらくロータリーの友ではなかったかと思います。

ロータリーは、「多様性、公平さ、インクルージョン(DEI)の原則」を大切にしておりますし、また、ロータリーは、ハラスメントのない環境を維持することに力を注いでおります。

ロータリーの捉えるハラスメントとは、「大まかに定義すると、個人またはグループを、以下の特性に基づいて、言葉であれ身体的であれ、脅迫、中傷、侮辱または攻撃する言動を指す：年齢、民族、人種、肌の色、障がい、宗教、社会経済的地位、文化、性別、性的指向、または性自認。(ロータリー章典26.120. 会合、行事、または活動におけるハラスメントのない環境から抜粋)」とのことです。

しかし、LGBTQ+の方々への接し方はDEIの観点からだけではありません。

LGBTQ+の方々の人口割合は、2022年鹿児島県弁護士会の調査では全人口の約8%、2023年電通ダイバシティラボ調べでは約9.7%、と推定されており、数字のブレは多少あるものの、相当数いらっしゃいます。

私はロータリーコーディネーター補佐であり、その任務は、ロータリーコーディネーターを補佐して、会員増強や戦略計画策定の普及などを図ることとなります。

日本では、女性(この場合は生まれながらに与えられた性が女性)の会員が10%に満たず、女性のロータリアン獲得を目指さなければなりません。上記の数字をみれば、LGBTQ+の方々も大きな会員増強のターゲットであることが分かります。

LGBTQ+の方々は、我々ロータリーにとっては、DEIの問題だけではなく会員増強のターゲットと考えるべきだと思います。



(九州弁護士連合会での配付資料)



手っ取り早くブランディング



第3地域 ロータリー公共イメージコーディネーター補佐 深尾 兼好（鹿児島西 RC）

先日、地域リーダー会議で東京にメンバーが集まった折、面白い議論が持ち上がりました。「正式ロゴのバッジをつけているメンバーがほとんどいないのはどうして」「昔のバッジに愛着があるのよね」「横長のバッジはすぐにひっくり返る」「バッグがバッジに引っかかる」「ROTARYと此れ見よがしに入っているのも気が引けて」「徽章に限りマークのみの使用を認めているのも中途半端」「でもロータリーのブランディングを推進している RPIC、ARPIC は正式ロゴのバッジをつけるべきだよね」・・・と喧々諤々。謙譲の美德=陰徳を是とした時代から一転して、素晴らしい行為はあらゆる手段を講じて社会に伝えるべしという公共イメージの向上が叫ばれ始め、その一環としてのブランディングが重要課題となっています。ブランディングとはロータリーの理念をベースに行動指針を定め視覚や言語を通じて社会の情感にアプローチすること。決してロゴデザインをガイドライン化し管理するに留まるものではありません。

私は長年、広告という業界に身を置き、嘗て多くの企業の CI(コーポレート・アイデンティティ)戦略(ブランディングという言葉が一般化する以前の企業のイメージ戦略)に携わってきましたが、MI(マインド・アイデンティティ)=企業理念と BI(ビヘビア・アイデンティティ)=行動指針、この両者を表現する VI(ビジュアル・アイデンティティ)からなる CIの本質をなおざりにして、マーク・ロゴだけが無意味に残存する例をたくさん見てきました。世界の有名企業の多くは明確な企業理念と行動指針を持ち、社員の意識も高く期待通りの事業を展開し、これらをシェアするインパクトのあるコミュニケーションの中でビジュアルとボイスが一貫しています。マークを目にするだけで、メッセージに触れるだけで、その企業の魅力が見えてきます。これはロータリーのブランディングにも言えることです。手っ取り早くは、社会の話題となるような奉仕プロジェクトを仕掛け、ロータリーのボイスを意識したメッセージと、ストーリーテリング、自分自身のこととしてロータリーでの体験や感動を語る。会場の設営や PR 素材は、ビジュアル・アイデンティティを統一し、ロータリーカラーと正しいロゴを使用する。要所は画像で取り込みネットで配信するだけでいいのです。ブランディングは、ロータリーと社会とを繋ぐインターフェイス、時々刻々コミュニケーション手段は変わります。嘗ては電車の中でサラリーマンが手にしていたのは新聞、家庭ではテレビ。ところが今では電車の中では皆がスマホを見て、家庭ではテレビより長時間 SNS につながっています。是非是非お試し下さい。

ポール・ハリス・ソサエティ(以降 PHS とする)へのご協力をお願いします。



第3地域 ロータリー財団地域コーディネーター補佐 吉原 久司 (尾道 RC)

PHS とは毎年継続的に 1,000 米ドル以上を年次基金、ポリオプラス基金、ロータリー災害救援基金、財団が承認した補助金のいずれかに寄付して下さるロータリー会員とロータリー財団支援者を認証するものです。

2013 年に創設されて以来 PHS は大きく成長してきました。その寄付額はロータリー財団年次基金の 21%、財団への寄付全体の 20%を占めています。PHS の会員数は 2014 年に 10,607 人(84 か国)でしたが 2023-24 年度には 32,000 人以上(154 か国)にまで増えています。世界の PHS 会員数の上位国は①米国 15,530②韓国 5,805③インド 1,705④日本 1,396 名となっています。(2023 年 11 月 1 日現在)

PHS に入会には入会時に一括で 1,000 米ドルを寄付する必要はなく、各年度に合計が 1,000 米ドルとなるように、どのように寄付するかは寄付者が決めることが出来ます。その後の年度も、一括で 1,000 米ドルでも、ロータリー年度末までに少額を何回かに分けても、どちらでも結構です。入会方法はマイロータリーPHS のページから開くことが出来ますし各地区のガバナー事務局からも手続きをとることが出来ます。認証方法は地区単位で行われるプログラムであり、贈呈の方法は各地区で異なります。ガバナー並びにエレクトの皆様は地区大会などの公式行事の際に認証式を行うなど積極的に取り組んで頂きたいと思えます。

ポール・ハリスは、「どんな白昼夢でも、それが良い夢で、実現させることが出来るのなら、悪い癖とは言えない」と言ったそうです。ロータリーでは、地元や世界で素晴らしいプロジェクトや活動を行うことで、夢を実現しますが、これは、ロータリアンや支援者の方々の惜しみない寄附があるからこそ可能となります。ぜひ皆様方には PHS の精神をお汲み取り頂き入会をして頂けるようお願い申し上げます。

**2023-24年度(2023年7月1日～)
地区別 ポール・ハリス・ソサエティ会員数と増加数**

第1地域 14地区

地区	2500	2510	2520	2530	2540	2550	2560	2570	2770	2790	2800	2820	2830	2840	合計
PHS数 (本年度 増加数)	13 (2)	84 (2)	5	47 (7)	2	24 (2)	21 (1)	38 (9)	45 (2)	73 (2)	5 (1)	117 (4)	17 (1)	7	498 (33)

第2地域 9地区

地区	2580	2590	2600	2610	2620	2630	2750	2760	2780	合計
PHS数 (本年度 増加数)	116 (2)	53 (1)	12	11 (2)	11 (1)	30 (1)	222 (11)	68 (24)	33 (1)	556 (43)

第3地域 11地区

地区	2640	2650	2660	2670	2680	2690	2700	2710	2720	2730	2740	合計
PHS数 (本年度 増加数)	14	17	70 (2)	9	22	87 (2)	118 (3)	12 (4)	23 (3)	11 (3)	14 (6)	397 (23)

合計
1,451名
(99名増)



1. ベトナム南米山学友会 創立記念式典開催

3月10日、10番目の海外米山学友会として発足したベトナム南米山学友会の創立記念式典【会長：ホーライフーン



さん(1973-75/桐生西RC)が、ホーチミンにて開催されました。式典当日、当会からは若林紀男理事長、滝澤功治副理事長、相澤光春副理事長、駒井英基常務理事に加え、日本からも40人以上のロータリー会員が出席。その他、韓国、中国、モンゴル、タイ出身の米山学友も多数出席しました。また、在ホーチミン日本国総領事館の古舘誠幾首席領事が出席し、この記念すべき日を祝うために会場に集結した人数は約140人となりました。ベトナム南米山学友会は2015年から米山学友グループとして、背中に「超私の奉仕」の文字を刻むオリジナルシャツを身にまとい、児童・障がい者・高齢者のための福祉施設への慰問など、日本のRCと連携しながら多

数の奉仕活動を行っています。式典内では、これまでに学友会活動をサポートしてきたRCへ感謝状が贈呈されました。

さらに、学友会が支援している児童養護施設の子どもたちが登場し、たくさん練習した、というダンスを披露。出席者からは温かい拍手が送られました。その他、レクリエーションや参加者全員による「手に手つないで」の合唱など、会場は熱気に包まれました。



2. タイ米山学友会 総会開催

2月25日、タイ米山学友会の総会がバンコク市内で開催されました。

総会はワラウト ブンロッド会長(1995-97/福岡東南RC)の挨拶に続き、今年1月に発生した能登半島地震で亡くなられた方々への黙とうが行われました。その後、財務報告、活動報告が行われ、2021年に医療機器寄贈を行ったワットプレーン病院への再訪問と近況報告会の開催、昨年8月に開催された米山学友による世界大会「再会 in 関東」への参加などが紹介されました。

また、ワラウト会長の後任となる次年度会

長選挙が行われ、現在副会長を務めるペチニンナレスさん(1994-96/越谷RC)が会長となることが決定。次年度から新たな体制で学友会活動をスタートさせます。



3. 2024 学年度奨学生採用とオリエンテーション開催

2024 学年度の奨学生は 932 人となりました。新規採用者 634 人、継続者 298 人です（4 月 1 日現在）。国・地域別では、中国 40.6%、ベトナム 14.6%、韓国 12.9%、インドネシア 4.6%、マレーシア、モンゴルが同率で 3.0%の順です。プログラム別では、学部・修士・博士課程奨学金が 875 人（学部 421 人、修士 263 人、博士 191 人）、地区奨励奨学金が 23 人、クラブ支援奨学金が 8 人、海外学友会推薦奨学金が 1 人、海外

応募者対象奨学金が 25 人となっています。

4 月末までに新規採用者に対して各地区でオリエンテーションが開催されます。オリエンテーションは、奨学生とカウンセラーが出会い、奨学生としての義務やロータリーについて理解してもらう場です。確約書に署名をした後、正式に米山奨学生となります。どうぞ温かく、新たな奨学生をお迎えください。

4. 寄付金速報 — 今年度も残り 2 か月半 —

前年同期比

+ 1.8%

普 - 1.4% 特 + 3.3%

3 月末までの寄付金は前年同期と比べて 1.8%増（普通寄付金：1.4%減、特別寄付金：3.3%増）、約 2,110 万円の増加となりました。

ロータリー会員の皆さまからのご支援に厚く御礼申し上げます。今年度も残り 2 か月半ほどとなりました。4 月以降は新規奨学生に関する行事も増加しますので、引き続き米山記念奨学事業へのご理解とご協力を賜りますよう、よろしく願いいたします。

5. 3 クラブ合同例会 主役は米山学友

3 月 13 日、東京浅草 RC・東京上野 RC・東京浅草中央 RC による「3 クラブ合同例会」（主催：東京浅草 RC）が都内にて開催されました。今回の合同例会は“米山学友の活躍”にスポットを当てたもので、二部構成で開催されました。

第一部はアメリカ出身で、沖縄に住みながら「長寿」沖縄の食生活とライフスタイルを研究・発信するクリスタル バーネットさん（2017-18 / 那覇南 RC）の卓話が行われました。



卓話を行うクリスタルさん

「長寿の秘訣は、食べる物ではなく食べ方にあります。楽しんで食事をする。そして、生きる目的を持ち、ソーシャルコネクションを持ち続けること」であり、それらすべてが「ロータリーライフに通ずるものがある」と語り、会場を沸かせました。



米山学友 4 人によるパネルディスカッション

第二部では、クリスタルさんに加え、モンゴル出身のエンフボルド ガンエルデネさん（2014-15 / 東京江東 RC）、中国出身の崔立剛さん（2008-09 / 青森 RC）、朱インインさん（2010-11 / 札幌東 RC）が登壇。4 人によるパネルディスカッションが行われ、「なぜ日本に残って働くのか」「東京で働く上での苦労」などについて、それぞれの体験談が披露されました。

今回のプログラムを立案した東京浅草 RC の田原績会長は、「今日、この日を心待ちにしながらも、参加が叶わなかった元地区米山奨学委員長であり、私の盟友でもある小森谷典明さんに良い報告ができそうです。ロータリー会員の皆さんに米山奨学事業について少しでも関心を持ち、日本に残って頑張る米山学友を応援していただければと思います」と、話しました。

6. 恩返しのボランティア活動

2月23日、関東在住で新疆ウイグル自治区出身の米山学友、イスカンドル アブドバリさん(2017-18/川越RC)、スライマン アボレケモさん(2019-20/坂戸RC)、スマイルジャン エメットさん(2017-19/金沢RC)、アハット アブリズさん(2017-19/久留米東RC)を含む20人のグループが石川県の七尾市と羽咋郡志賀町にてボランティア活動を行いました。

当日は2つのグループに分かれ、一組は羽咋郡志賀町でウイグル料理のポロやスープ250人分の提供、もう一組は七尾市の被災現場で復旧作業を行いました。現地では、他のボランティア参加者と協力しながら作業を行い、被災した方々からは感謝の言葉をたくさんもらったそうです。なお、共にボランティアに参加した20人全員が日本で仕事をしており、これまでの恩を少しでも返すことができれば、という思いで参加したそうです。

アブドバリさんは、アボレケモさん、エメットさん、アブリズさんと共に「NPO法人JUアカデミー基金」を設立し、理事長を務めています。優秀な日本在住のウイグル出身留学生および中央アジアからの私費留学生へ、奨学金の支給や学習サポートを行っており、これまでに16人を支援。また、経済的支援が必要な日本人小学生にも奨学金を付与することを決定し、今後実施していく予定とのこと。



羽咋郡志賀町で振る舞ったウイグル料理のポロ

7. スリランカカレーで心も身体も温かく

韓国出身で大宮北RC会長を務める米山学友、金福漢^{キム}さん(1995-97/大宮北RC)が第2610地区穴水RCと協力し、能登半島地震の被災地でスリランカカレーの炊き出しや復旧ボランティアを行いました。

経緯として、穴水町にある福祉施設「精育園」から、全国の社会福祉施設に対して救援要請が出され、さいたま市でNPO法人 織の音アート・福祉協会「織の音工房」の代表を務める金さんが支援を決断したことが背景にあります。

3月21日に石川県入りした金さんは、共に現地入りした職員と翌日の炊き出しの準備と、スリランカカレーの仕込みを行いました。なお、このカレーは第2720地区 Japan O.K ローターリーEクラブ会員の米山学友で、共に第2代よねやま親善大使を務めたスチッタ グナセカラさん(2010-11/別府RC)が提供してくれたそう



スリランカカレーを用意する金さん(左)

です。22日に精育園に到着した金さん一行は、穴水RCの東四柳史明会長、鳥越豊子幹事、七海友也会長エレクト、舞谷繁ガバナー補佐と合流。前日から準備した、無農薬の野菜をたっぷり使い、ココナッツミルク

で辛味を抑えて作ったというスリランカカレーを振る舞い、精育園の入居者らと交流しました。23日も七尾市などで炊き出しや復旧ボランティアに参加するなど、精力的に活動を行った後、24日に埼玉へ戻ったそうです。

金さんは、「現地は復旧の遅れが深刻で、継続的支援の重要性を感じました。ボランティアに行けなくても、大きな支援はできなくても、被災者に心を馳せ、応援している方が多くいる、という事を伝えられて良かったと思います。被災された方々の『忘れられるのが一番怖い』という言葉が胸に刺さりました。これからも、できる支援を続けていきます」と、語りました。